

経団連も加わって創設した認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームである。海外での支援活動に実績を持つ会員N G O 35 団体を中心に、被災地での活動を資金面で大きくサポートする役を担った。

ひとりのアイデアから生まれたのが、ネット上に開設された「復興市場」である。多くの救援物資が全国から送られるが、それでは地元の商店は潤わない。被災地で必要とする物資を、全国の支援者が地元の商店からネット上で購入してプレゼントしようという仕組みで、そのアイデアは賞賛に値する。

企業では、やはりクロネコヤマトの貢献が傑出している。従業員の専門的な技能を活かした自発的な活動もさることながら、同社のトップは、1 年間にわたって宅急便 1 個につき 10 円の寄付を行うと決断した。総額は、実に 142 億 3,680 万円に達した。同社の年間利益の 40% が、被災地の水産業などの復興に充てられたのである。日本の企業史に残る快挙と言えよう。

今後の支援として、残された課題も多い。まちづくりや、被災者への精神的サポート、産業・経済活動の再興に向けた支援は、急がなければならないし、継続していかなければならない。復興予算の流用など、政府の被災者の心を傷つけるような振る舞いには、国民全体が厳しく監視していかなければならない。さらに、原発関連の被災地に対しては、国民全体がこれからも自らの問題として真剣に取り組んでいかなければならない。

卓話者プロフィール

まつ おか とし お
松 岡 紀 雄 様

- 1940 年愛媛県松山市生まれ。1964 年に京都大学法学部卒業後、松下電器産業（現パナソニック）に入社。松下幸之助会長の創設した P H P 研究所に出向、アメリカ P H P 研究所の初代代表や、国際 P H P 研究所代表取締役兼英文 P H P 編集長などを務める。
- 1980 年に経団連が創設した（財）経済広報センターに出向。海外広報の第一線での活動が「海外広報の伝道師」などと高く評価され、神奈川大学経営学部の創設に当たって迎えられる。学部と大学院で、海外広報論や企業市民論、経営環境概論、起業学入門、社会福祉論、N P O マネジメントなどの科目を担当。2011 年 3 月に定年退職、名誉教授に就任。なお、定年退職を前にした最終講義「松下幸之助から学びて、いま思う日本の行く末」は、下記の YouTube サイトで公開されている。

<https://www.youtube.com/watch?v=hetJSuYzrIQ>

- 平塚市の高度情報化プラン策定委員会委員長や、市民活動促進条例検討委員会の委員長、平塚市や二宮町の

総合計画審議会会長、平塚商工会議所の中心市街地活性化特別委員会委員などを歴任。一昨年の平塚市長選挙に際しては、公開討論会の司会も務めた。

- 現在も、かながわボランティア活動推進基金 21 の審査会長、かながわ協働推進協議会座長、横須賀市市民協働審議会委員長、全国信用金庫協会監事、さわやか福祉財団評議員、公益法人協会理事、日本フィランソロピー協会理事などを務める。
- 著書には、英文国際比較統計集『Japan 1980』シリーズ、『海外広報の時代』『企業市民の時代』『ボランティアを高く評価する社会』など。1986 年に、企業広報功労者賞を受賞。

<幹事報告>

◎平塚南ロータリークラブ会員 原田 誠様が逝去されました。昨日 23 日 18:00 からの通夜式に、小飯塚会長が出席されました。ご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご報告致します。

<メイクアップ>

4 名

國岡久資、杉山善弥、福山 裕、常盤卓嗣 会員

<ゲ ス ト>

1 名

松岡紀雄様（卓話者）

<ビ ジ タ ー>

0 名

<本日のスマイル>

16 名

<卓話・行事予定>

- 2 月 7 日（木） 2008-09 年度ガバナー
山路裕昭様（足柄 R C）
- 1 4 日（木）→1 6 日（土） 第 8 グループ I M
12:30 ~ 登録開始
ホテルサンライフガーデン
- 2 1 日（木） 東海大学工学部土木工学科
教 授 山本吉道様
- 2 8 日（木） 平塚市長 落合克宏様
- 3 月 7 日（木） 会員健康診断

<市内例会変更>

*現在ございません。